

4月のささやまっこだより

令和6年4月1日
篠山保育園
園長 足立善一郎

進級、入園おめでとう

園庭の桜が、新しく仲間になったお友だちや進級したお友だちをお祝いするかのように花開き、みんなの素敵な笑顔を待っていました。子どもたちは入園、進級と親のもとを離れいよいよ新しい生活が始まります。これまで親の胸の中で“安心とやすらぎとよりどころ”を得て不安も緊張もない毎日を過ごしてきたことでしょう。でもある日突然、見知らぬ友だちと保育士のいる集団の中に入ってくるのです。すべてが“初めてづくし”で不安を抱えるにちがいありません。私たち保育士はそんな子どもたちをしっかり受け止め、保護者の皆さんが安心して職場へ向かえる日が、一日でも早く来る事を願いながら保育をしています。どうぞ保護者の皆さんも笑顔で「いってくるよ」と声をかけ仕事に向かわれてください。進級したみんなも、緊張と張り切りパワーで体調をくずす場合がありますので、体調の変化にはお気をつけください。



6年度職員紹介

園長 足立善一郎 主任 足立純子

ばら組 (5才児) 國分久仁子

ふじ組 (4才児) 姫野友加

もも組 (3才児) 森 千恵子・吉富美雪 (育休代替 森 里帆・本村直子)

さくら組 (2才児) 井寺桃子・重富伽帆・中島 希・田中遥奈

すみれたんぽぽ組 (0,1才児合同クラス)

石橋恵莉 (育休代替 野田真璃子)・吉田みつの

寺崎ももこ・野田登美子

フリー 田部あんず 看護師 吉田みつの

給食調理員 古賀朱莉・中山亜利沙

非常勤保育士 中野真由美・松本優子・山内里嘉・前田 遥
宮原奈都美・密城華蓮・本間 曜・山下 愛
藤本一馬・平岡里美

非常勤調理員 池田由美・二宮舞香・高倉麻衣

休日保育士 川口久美子・古賀悦子・阿志賀千恵

豊田彩夏・大石三重子

嘱託医 (内科) 本間小児科医院 本間真一先生

嘱託医 (歯科) かばしま歯科医院 樺島和子先生

4月の行事予定表

- 1日(月) 新年度保育始まり
 - 13日(土) 園内研究会【職員会】
 - 18日(木) 第1回内科健診(14:30~)
 - 19日(金) 避難訓練
 - 25日(木) 誕生会
- 8日、22日…えいごであそぼう(ばら組)
15日…えいごであそぼう(ふじ組)

朝の連絡について

登園が9:30を過ぎる場合や欠席する場合は**9:20までに「れんらくアプリ」**にて送信をお願いします。

※ 9:21以降は送信できなくなりますので電話連絡をお願いします。
(9:30時点で給食人数を決定します)

☆毎月、月初めに園だよりとクラスだよりを、月末には給食献立表を発行します。月の行事や子どもたちの姿、クラスの取り組みなど保育の様子をお伝えします。ご家庭でお読みください。今年度からクラスだよりは、園だよりの裏面に6クラス分を掲載します。(園だより5月号から) また、行事の変更やお知らせがある場合には、お手紙を配布するとともに各クラス掲示板(コルクボード)等に貼り出しますので、毎日ご確認ください。

個人情報保護法に伴い、園だより、ホームページ等にお子様の写真を掲載して欲しくない方は、事前に園の方へお知らせください。掲載する場合、写真と名前を同時に載せることはありません。

ささやま保育園では

まずあそびを通して心と体が自由に動く子どもたちを育てていきます。そこから生活のマナーやけじめを伝えていき、“自分で考えて行動できる子ども、思いやりのある子ども”に育ってくれればと願い保育をしています。子どもたちも幼いながらも、いろんなことを感じ考えています。目先のことにとらわれずに、じっくり時間をかけて育てていきます。

だるまさんが〜



生活リズムを身につけよう

入園、進級などで新しい環境に入る春は、生活リズムを見直すチャンスです。よい生活リズムを身につけることが、健康に過ごせる基本。ぜひ実践してみてください。

- ① **早寝早起きを意識して…** 眠りは日中の疲れをいやし、成長ホルモンを分泌させて脳や体の発育を促します。子どもたちは夜遅くても9時までには寝て、朝7時までに起きるように促してみましよう。(各家庭の事情があると思いますので、上記のことを意識して少しずつ取り組んでみてはどうでしょう！)
- ② **朝ごはんを食べよう…** 朝ごはんを食べないと、ぼーっとして、活力が湧いてきません。元気の源となる朝ごはんを必ず食べましょう。
- ③ **うんちは済んだかな…** 朝ごはんを食べると、腸が刺激されて動き出し、排便を促します。ごはんの後は“うんちタイム”を取り、トイレに座りましょう。

相手してもらおうの大好き



お母さんやお父さんと目が合うとニコニコ笑顔の赤ちゃん。そんな瞬間が積み重なって「かわいい」という気持ちも生まれてくるのでしょう。赤ちゃんもお母さんやお父さんに相手してもらおうのは大好きです。ほっぺをチョンチョン、お鼻をツンツン。「いない、いない、ばー」や昔ながらの手遊びもいいですね。赤ちゃんに遊んでもらう、赤ちゃんといっしょに楽しむ。気負わずにそんな気持ちで接してみましよう。言葉がけも難しくかんがえなくていいのです。「おむつをかえようね」「お散歩に行こうか」と自分のしていることをそのまま口にしてみましよう。赤ちゃん向けの特別な言葉がけなんて、ありません。ふだんの暮らしの中で自然におしゃべりしていれば、それで十分です。

